



あずさ かい 児童文学作家
梓 加依さん 子どもの生活文化研究家
 心理カウンセラー

中央図書館開館 30 周年記念に同館が出版した「川西むかしむかし」の著者。子どもの頃から読書が趣味。子育て中は多数の蔵書を生かし、親子で本を読む場として家を開放。子育てが一段落すると中央公民館の児童図書担当として、各公民館の図書室や中央図書館の設立に尽力。その後、図書館協議会委員や大学講師、家庭裁判所調停委員を務めた後、子育て支援グループ「いはいないばあ」の講師として図書館で活動中。

川西ってとってもすてきなところ 山にも川にも地名にも ぜんぶ物語があるんよ

子どもが川西を好きになるきっかけづくり
 歴史や伝説を土地の優しい言葉で伝える

各小・中・特別支援学校と各公民館、
 中央図書館、電子図書館で閲覧可



「著書『川西むかしむかし』出版のきっかけを教えてください。」
 私が書いた川西の歴史や伝説の話が、中央図書館長の耳に入り、提案してくださいました。子どもだけで読める川西の郷土資料をずっと探していた、これがまさにそうだった。中央図書館の30周年記念に、書きためていた原稿をまとめ、出版していただけることになりました。

「どういう思いで書かれましたか？」
 川西に引越したとき、地名や駅名の美しさに感動して由来を調べたんです。そうすると面白い話が多くて。子どもたちにも知ってもらいたいと思い、関西弁で原稿にしました。方言ってすごいですね。土地の言葉で語ると、子どもたちがすぐに受け入れてくれるんです。

「梓さんにとって本とは？」
 私は幼い頃、運動会に出たことがないくらい病弱で、いつも1人で本を読んでいた。それもあってか引つ込み思案な性格で。でも、そんな私を本と子どもが変えてくれました。元気で素直な子どもたちに本を読み聞かせるうちに、私も明るい性格に変わっていったんです。気付けば色々な立場で多くの経験をさせていただいていた。本は人生を変えてくれた特別な存在ですね。

「川西の子どもたちに向けたメッセージをお願いします。」
 川西には多くの物語が眠っています。本で探したり、人に聞いたりしてみてください。もっと川西が好きになりますよ。

CHECK & QUIZ 次の空欄 (○の中) を埋めてください。
 1 : ○歳以下の人へのワクチン接種が始まります 2 : 投票日は7月○日
 クイズ正解者の中から絵本「みにくいマルコ〜えんとつ町に咲いた花」を2人に差し上げます (正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法：市ホームページ (右の2次元コードからアクセス可) から必要事項を送信するか、はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、7月9日(金) (消印有効) までに〒666-8501・広報広聴課「クイズ」係へ。
 ※6月号の正解は (避難) (香) で、109件の応募がありました。

5月末現在の人口

男	73,563人 (-41)
女	82,298人 (-7)
計	155,861人 (-48)
世帯数	70,655世帯 (+29)

